

「消費者力」の育成・強化について

消費者庁消費者教育推進課

VR動画等を活用した体験型教材「鍛えよう、消費者力」の周知啓発

- VR教材を活用した体験会や授業・講座等への協力（新未来創造戦略本部、寄附勧誘対策室、関係団体等と連携）
- VR機器の地方公共団体・大学等への貸出による利用促進
- 未来本部での教材活用に向けたモデルプロジェクトを開始（徳島県、京都府等で担い手向けセミナーを実施）

◆ VR教材等の体験会や授業・講座等への協力

大学の授業やオリエンテーション、関係団体等の講演会やイベント等でVR体験を含む説明を行う。

（計45回、参加者総数：約1600名）

◆ VR機器の貸出による教材活用場の促進

地方公共団体や大学等でのイベントや出前講座でVR体験等を実施。利用者アンケートを回収。

（計17団体、23回、利用者総数：約300名）



➤ VR動画等の総再生回数：
27,531回（4月～9月）

- ・ 偽装サークル：4,344回
- ・ 暗号資産トラブル：2,267回
- ・ 催眠商法：1,910回

➤ 特設サイトへのアクセス数
（PV数）：66,623回
（4月～9月）

➤ 実践事例（家庭科、公民科）を消費者教育ポータルサイトに掲載

◆ ショート動画による周知・広報（8月下旬～）

	X（18歳から大人） ※催眠商法は消費者庁X		インスタ （エシカル消費）	
	投稿日	再生数	投稿日	再生数
偽装サークル	2024/8/19	1.1万	2024/8/26	594
暗号資産	2024/8/20	12.2万	2024/8/27	507
催眠商法	2024/8/20	1.2万	2024/8/28	608



【モデルプロジェクト等の概要】

VR動画等の教材を活用した講師養成講座やモデル講座を実施し、教材の導入・普及のための方策と課題を整理した実践ガイドを作成する

【教材】

「消費者力」育成・強化のため、VR動画等を活用した体験型新教材を開発（令和5年度）



問題意識・課題

- 消費者教育コーディネーターへのアンケート調査によると、担い手の発掘や教材の活用方法が課題

⇒

開発した教材を継続的・実践的に活用してもらうため、教材の効果的な活用方法を検証する必要がある

実施する取組

①担い手向けセミナー（9月～12月中旬）

徳島県、京都府、其他都道府県の3地域で消費者教育の担い手（消費者教育コーディネーター、教職員、学生等）を対象に教材の活用方法を講義

②「消費者力」測定ツールの作成（9月～12月）

モデル講座を受講したことによる消費者力（気づく・断る・相談する力）の向上を測るツールを専門家の協力のもと作成

③モデル講座（10月～1月下旬）

担い手が実施する講座等（出前講座、授業、体験ブース等）において本教材を活用したモデル講座を上記セミナーの開催地を中心に10回以上実施

講師（担い手）：若者、学生ボランティア等 5回、其他担い手 5回

受講者：若年者向け（大学生・高校生） 5回
一般（保護者・事業者）、高齢者向け 5回

④教材のガイド作成

①～③での講師、受講者に対するアンケート調査の検証結果を踏まえ、本教材の導入・活用方法を整理した自治体向けガイドと担い手（特に学生・若者）向けガイドを作成。併せてセミナーやモデル講座を紹介するダイジェスト版動画を作成

成果イメージ・効果

- 消費者教育の若い担い手の活動を支援
- 教材の全国的な導入・普及及び継続的、実践的な活用による各世代の消費者力の育成、強化